

無形文化財の保存・活用に関する調査研究 (①無01-09-4/5)

目 的

わが国の無形文化財、並びに文化財保存技術の伝承実態を把握し、その保護に資するため、伝承の基礎となる技法・技術の実態や変遷の調査研究、及び資料の収集を行い、現状記録の必要な対象を精査して記録作成を行う。

また、無形文化遺産分野についての国際的研究交流として、アジア地域を中心とした諸外国の関係機関との具体的交流を推進するための協議を行う。

成 果

1 無形文化財、文化財保存技術の伝承研究

現在伝承されている狂言小歌について、現在の伝承と江戸後期の譜本を比較対照し、狂言小歌本来の拍節について検証した。考証の結果、従来小歌には拍子にあわせて謡うものとあわせずに謡う二種類があると言われてきたが、すべて拍子にあうのが本来であることを立証し、伝承過程で次第に拍を意識せずに自由に謡うようになった、と結論づけた。成果は楽劇学会大会で口頭発表し、『楽劇学』17号に掲載した。

文化財保護委員会作成の音声資料について調査を行い、豊竹山城少掾と四世鶴沢清六による『平家女護島』鬼界が島の段について、2009（平成21）年12月16日、江戸東京博物館ホールにおいて開催した第4回無形文化遺産部公開学術講座で発表した。

連続口演の機会が激減している講談について、一龍齋貞水師と神田松鯉師による実演記録を作成した。また、伝承が変化しつつある宝生流謡曲及び喜多流謡曲について、今井泰男師、近藤乾之助師、喜多六平太師による実演記録を作成した。

人形浄瑠璃文楽の伝承演目の中で最も中核的な諸作品を執筆した浄瑠璃作者について、その再認識を促す展覧会、早稲田大学演劇博物館主催『並木宗輔展—浄瑠璃の黄金時代—』の企画に参画し、同展覧会の図録の編集を行った。

無形文化遺産部所蔵の音声資料を整理し、所蔵一覧等を『無形文化遺産研究報告』に概説した。また、長く雑誌『演劇界』のグラビアを担当していた写真家梅村豊氏（1923-2007）撮影の写真およびネガの整理を行った。

工芸技術に関しては、伝統的な染織技術の保護活動、明治以降の京焼について調査研究を行い、それぞれ『無形文化遺産研究報告』で公表した。

2 無形文化財記録作成事業

① 近年の伝承に変化が著しい宝生流と喜多流の謡曲について、昨年度にひきつづき、流儀の最長老今井泰男師による番謡、近藤乾之助師ほかによる番謡、喜多六平太師による番謡の音声記録を行った。

「東北」「雲林院」「養老」「芦刈」「放下僧」「天鼓」「敦盛」「玉鬘」「田村」「紅葉狩」

「小袖曾我」「巻絹」「正尊」「櫻川」「春栄」（以上、今井泰男 15曲 収録順）

「盛久」（以上、近藤乾之助）

「定家」「花筐」「実盛」「西行桜」「融」「花月」（以上、喜多六平太）

② 連続口演の機会が激減している講談について、一龍齋貞水師と神田松鯉師による実演記録を作成した。

『仙石騒動』神田作十郎・神谷転と渋川伴五郎の出会い・仙石家問者・長谷寺の捕物（一龍齋貞水）

『文化白浪』鑄掛屋松五郎・大坂無宿の喜八・桑名屋乗り込み・梶田外記齋（一龍齋貞水）

『徳川天一坊』名君と名奉行・天一坊生立ち・伊予の山中（神田松鯉）

『幡随院長兵衛』長兵衛の生立ち・吉原堤の間違い・庵崎の小平（神田松鯉）

3 公開学術講座の開催

12月16日、江戸東京博物館ホールにおいて「『平家女護島』鬼界が島の段」と題して、第4回無形文化遺産部公開学術講座を行った。入場者数124名。

プログラム

- | | | |
|-----|-----------------------|--------------|
| 講演Ⅰ | 昭和24年3月収録「鬼界が島の段」 | 飯島 満 |
| 講演Ⅱ | 義太夫節「蜚訛り」の伝承 | 坂本清恵（日本女子大学） |
| 鑑賞 | 豊竹山城少掾・四世鶴沢清六「鬼界が島の段」 | 解説・飯島満 |

4 無形文化遺産保護分野での国際的研究交流

韓国国立文化財研究所の無形文化遺産研究室と結んだ合意書に基づき、研究員の相互派遣を実施した。

論文等掲載数 3件

- ・飯島満「展覧会図録『並木宗輔展—浄瑠璃の黄金時代—』 早稲田大学演劇博物館 09.12.1
- ・飯島満「古典芸能の伝承と変遷—人形浄瑠璃文楽の場合」『第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会報告書』 10.3.8
- ・高桑いづみ「狂言小歌拍節遡源—狂言小歌は拍子合か拍子不合か—」『楽劇学』17 10.3.31

発表件数 2件

- ・高桑いづみ「小歌は拍子合か拍子不合か—狂言小歌「十七八」をきっかけに」 楽劇学会第17回大会 09.7.12
- ・飯島満「昭和24年3月収録「鬼界が島の段」 第4回無形文化遺産部公開学術講座 江戸東京博物館 09.12.16

研究組織

- 宮田繁幸、高桑いづみ、飯島満、俵木悟、菊池理予、綿貫潤、星野厚子、金子健（以上、無形文化遺産部）、福岡裕子、森下愛子（以上、客員研究員）